

会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称
平成28年度第1回美里町生活支援体制整備協議会
- 2 開催日時 平成28年5月20日(金)10時00分から11時28分 まで
- 3 開催場所 美里町健康福祉センターさるびあ館 2階研修室
- 4 会議に出席した者
 - (1) 委員
小野俊次委員、角田フミコ委員、伊藤秀司委員、千葉久美委員
佐々木義夫委員、浅野恵美委員
 - (2) 事務局
青木正男、佐々木さとみ、高橋ひろみ、横山太一、相原浩子
 - (3) その他
- 5 議題及び会議の公開・非公開の別
議題
今年度の計画
前回の会議内容を振り返り、課題を考える
会議の公開・非公開の別
公開
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の人数
0人
- 8 会議資料
別紙のとおり

9 会議の概要

(1) 議題の審議結果又は今後の対応

- ・生活支援体制において地域づくりを考える為には、地域の状況や地域の皆さんが何に困っているかを把握することが必要。地域の方の話を聞いたり、教えてもらうことが大事であり、関わる職員・スタッフはそこを把握する努力をしなければならない。
- ・他の地域でどのように解決しているかを勉強し、連携しながら一人で抱え込まないことで、地域で困っている人を支えることができる。
- ・高齢者であっても支援をうけるだけではなく、高齢者どうしでも支え合いができると良い。

以上の意見から、会議の委員・包括支援センターの職員等が地域の情報交換会への出席を行っていくこととした。

(2) 詳細な意見

佐々木課長補佐	<p>ただいまから平成28年度第1回美里町生活支援体制整備協議会を開催します。</p> <p>青木健康福祉課長より挨拶申し上げます。</p>
青木健康福祉課長	<p>この会議は、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、支援体制をどう作るかを考える為の会議です。昨年いただいた意見を基に考えていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。</p> <p>早速議事に入りたいと思ひます。</p> <p>1) 自己紹介に入ります。</p>
相原技術主幹	<p>昨年からメンバーも変わりましたので、改めて自己紹介をお願ひします。</p>
	<p>～出席委員・事務局自己紹介～</p>
青木健康福祉課長	<p>2) 今年度の計画について、相原より説明申し上げます。</p>
相原技術主幹	<p>皆様のお手元に、実施予定表があると思ひます。1回目から4回目までの実施予定日と時間が書いてあります。この会議の委員をお願ひする時に、この会議の目的と何をしていきたいかを説明しました。会議の内容としては高齢者の生活支援をどうしていったら良いかを考えるのが主ではあるが、それだけではない内容も出てくると考えています。皆様のご意見をいただきながら検討していきたいと思ひます。</p> <p>会議は4回を予定したいと思ひます。この会議で何かを実行していくのではなく、課題を見つけたり、必要なことを確認したりする場として4回計画しました。それ以外にも皆さんと活動する場面を他にも考えていきたいと思ひます。</p> <p>時間については、昨年皆さんに伺った時に午前中が良いと意見あり、午前中に設定しましたがよろしいでしょうか。</p> <p>～委員の皆さん額かれる～</p> <p>業務の時間内ですが、よろしくお願ひします。</p>
青木健康福祉課長	<p>では皆さんよろしくお願ひします。</p> <p>続きまして、3) 前回の会議内容を振り返り、課題を考えるに進みます。相原より説明申し上げます。</p>

相原技術主幹	<p>前回までに皆さんから会議でご意見いただきましたが、それを皆さんで振り返ることをしていきたいと思います。今回、二つのグループに分かれてもらいましたが、グループで作業をしたいと思います。</p> <p>皆さんの前に模造紙が置いてあります。前回の会議までに出た意見を、付箋にキーワードとしてを書いています。グループ毎に同じものを渡します。これを模造紙に貼り、付箋をグループにまとめたり、大事な意見だと分かるようにしたりしたいと思います。付箋をグループにまとめたら、それに題名を付けて下さい。今から30分位で行いたいと思います。</p>
	~グループワーク~
相原技術主幹	<p>皆さんに模造紙にまとめていただきましたが、書いた言葉よりも、グループで話し合ったことが大事だったと思います。</p> <p>では、横山技師のグループから発表してもらいます。どのような話が出たかを教えて下さい。</p>
横山技師	<p>町民の皆さんが何に困っているのかがもともになるのではないかとになりました。ただ、何に困っているのかが分からない、相談に来る人はいいけれど、来ない人は何に困っているのかが分からない。民生委員さんが訪問すると困り事を沢山聞くけれども、その人は他の所に相談はしていないのか、相談する場所は分かるけど相談していないだけなのか、相談場所も分からないのか、高齢になったら誰が支えるのか等、地域で困っていることがある。困っていることをどうやって把握したり対応したりできるのかを考えた時、地域の方と話をしたり教えて貰ったり掘り起こすことが大事なのではないかとになりました。その困っている人を把握したら、どうやってその人を支えることができるのかを考えた時、連携や一人で抱え込まない等皆で手をつなぐことをすれば、掘り起こした人を支えられるのかもしれない。サービスを利用できたり、交流につながったり、支えていく中で啓発等を行っていくこともできるといいという話し合いになりました。</p>
相原技術主幹	<p>ありがとうございました。では、もうグループの発表をお願いします。</p>

<p>浅野委員</p>	<p>地域の人が何に困っているかを知る場面がないという話が出ました。これは心がけて、知る場面に参加していかないとにならないと思います。地域のニーズを知る為に、区長さんや民生委員さん等地域のキーパーソンに働きかけて、地域住民の声を聞く場面を把握する努力をこちらもしていかなければならないと思います。</p> <p>地域のニーズには気付いたけれど、誰に何をどうやっていけばいいのか、認知症の事だったり介護保険のこと、地域の交流は大事だけれども何の為に大事なのか等、分からないことが沢山あることに気づきました。分からないことを共有化しあえていないことについては学んだり、話し合ったり、教え合ったりという場面が必要なのではないかとなりました。これを解決するための仕組みを把握して、連携や共有が出来ればよいと思います。上から目線でやってあげますではなく、高齢者であっても得意なことがあればお互いに支えたり支えられたりする関係を大事にできるといいのではないかと、高齢であっても認知症であっても一方的な支援ではなくて支え合いが出来るとよくなりました。</p> <p>何を指すのかについては、一人一人が地域の中で自分らしく生きていくことを目指すとまとめました。</p>
<p>相原技術主幹</p>	<p>グループ毎に違うものが出来上がるかと思っていましたが、同じようにまとめました。「地域が何で困っているのかを知る」と「それを他の地域でどのように解決しているのかを知る」「勉強をしていく」ことが出ました。それがないと、どういうサービスがいいのかや、支え合うといった時に誰にどのようにしたら支え合いになるのかが分からない、ということになるのかと思います。</p> <p>地域のニーズを知るとか、学びの場や話し合いの場として、他の地域でやっていることを知ったりすることが必要だと思います。行政の立場やサービス事業所の立場からすると、サービス提供することに目がいき、「何をしたらよいか」となるが、この会議のメンバーも行政区に入りながら、地域の方の意見を聞くことをしていきたいと思います。社協の力を借りながら、地区社協の懇談会等に出席させてもらう形でやっていけたらと思いますがどうですか。</p>
<p>浅野委員</p>	<p>地域の都合で、土曜日だったり夜だったりすることもあります。ぜひ参加ください。</p>

相原技術主幹	では、そのような活動をしていきたいと思います。もう一つ、以前シルバー人材センターから、他町のワンコインサービスについて話がありましたが、JAさんでも何かできないかなと考えていると話がありました。このような動きを把握しつつ、包括と各事業所さんと細かい情報をやり取りしながら、この会議で情報を出していきたいと思います。そうすることで、実施する方法等がより具体的になっていけるのかと思います。
伊藤委員	意見を聞くことや学びの場についてはできると思うが、問題は組織的にどうするか、支え合いを具体的にどうするのかだと思う。そこが大きな課題になってくるのではないかと思います。シルバーは生活支援という面では進歩してやっている。情報は集められると思う。 具体的にどうするのかというところでこの会議は評価されるのだと思う。
相原技術主幹	地区だけでは解決できないところに、事業所さん方の力を借りたりするところが考えていかなければならないところかと思います。困っていることを把握して、解決していくことを目指してやっていきたいと思います。意見を聞く会議については確認をして皆さんにお知らせしたいと思います。
伊藤委員	シルバーでは、買い物支援として買い物の付き添いをしていました。また、高齢者の農作業の手伝いもしています。農家も高齢化しており、一緒に働くことが出てきています。散歩への支援も全国的にされています。大都市圏は進んでいます。
浅野委員	社協に情報交換会が出た意見が3年間分あるので、情報提供したいと思います。
相原技術主幹	次回8月までの間にできることをやっていきたいと思います。ではこれで今日は終了したいと思います。皆さんご苦労様でした。

上記会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

年 月 日

委員 _____

委員 _____